

# 「2018年度 ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」 地方創生大賞 3名品 & 政策奨励大賞 1名品が決定！ 中央合同庁舎 8号館 講堂にて表彰式を実施

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会(実行委員長:古田秘馬)は、地域の素晴らしさを域外の消費者に直接伝えようとする新たなチャレンジを、より多くの人に知ってもらうことを目的とした表彰制度「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」について、地方創生担当大臣賞となる「地方創生大賞」3名品(入賞9名品から3名品選定)、「政策奨励大賞」(入賞3名品から1名品選定)を決定し、3月13日(木)17:00より中央合同庁舎8号館講堂にて表彰式を開催しました。

表彰式には、最終審査員を務める片山さつき地方創生担当大臣、増田寛也さん(野村総合研究所顧問)、富永美樹さん(フリーアナウンサー)、和田明日香さん(モデル・食育インストラクター)、エバレット・ケネディ・ブラウンさん(国際フォトジャーナリスト)、古田秘馬実行委員長も出席し、代表として片山大臣からご挨拶をいただきました。

受賞品は下記となります。

【地方創生大賞・ヒト部門】  
UDON HOUSE を立ち上げた地域の人々  
香川県三豊市

【地方創生大賞・モノ部門】  
食彩 GARDEN 三浦やさい栽培キット  
神奈川県三浦市

【地方創生大賞・コト部門】  
市川市×市川市国際交流協会(I.I.A.)「シェフ先生」プロジェクト  
千葉県市川市

【政策奨励大賞】  
北海道美瑛高等学校におけるキャリア教育の実践  
北海道美瑛町

※表彰式模様の公式写真は、事務局にお問い合わせください。

※テレビ東京が運営する地域食材のお取り寄せサービス、『虎ノ門市場』にて各部門賞の販売を予定しております。(別紙参照)

※本日の表彰式の模様、地方創生賞・政策奨励賞、各部門賞の詳細は下記よりご覧いただけます。

「ふるさと名品 オブ・ザ・イヤー」公式 HP <http://furusatomeihin.jp/>

## ■「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」について

地域の中には日本全体ひいては海外にも通用する潜在力の高い名品やストーリーがたくさん眠る一方、域外の消費者は、こうした未開拓の資源の存在をほとんど知る機会がなく、また、地域の側もそのポテンシャルをどう伝えればいいのか、戸惑いがあるのが現状です。

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会では、地域の素晴らしさを域外の消費者に直接伝えようとする新たな地域のチャレンジをさらに効果的に、より多くの人に知ってもらうべく、意思を同じくする民間企業が知恵と力を合わせて、地域に眠る名品と、その名品を支えるストーリーや取組を様々な角度から発掘してまいります。

### 【「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会】

実行委員長:

古田 秘馬

幹事社(6社):

株式会社ジュピターテレコム(J:COM)、株式会社 JTB、株式会社テレビ東京コミュニケーションズ、株式会社ドウ・ハウス、株式会社ホンモノ・ジャパン、ヤフー株式会社

会員企業・団体(12社・団体):

一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会(エコツツェリア)、株式会社 CAMPFIRE、キリン株式会社、KDDI株式会社、株式会社さとふる、株式会社津々浦々、大日本印刷株式会社、株式会社ビズリーチ、株式会社扶桑社、株式会社マクアケ、一般社団法人モテパパLAB、株式会社 LIFULL、株式会社リクルートジョブズ

参加企業・団体(4社・団体):

自然電力株式会社、ひめくら協同組合、山田水産株式会社、株式会社綿谷製作所

後援: 内閣府、農林水産省、経済産業省

## ■賞体系について

【ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 2018 地方創生大賞(地方創生担当大臣賞)、地方創生賞】

それぞれの名品や、名品をめぐる人材・取組が、どれだけ地方の変革に向けた機運を醸成し、その実現に成功したかという観点から選考・表彰する賞。「ヒト」「モノ」「コト」の3つのカテゴリごとに地方創生賞を3つずつ用意し、それぞれのカテゴリの最高位を地方創生大賞とする。

応募条件 : 本年12月頃までに、地域の特徴を生かした最近3年を目安に新たに販売・発表された名品を対象とします。ただし、販売・発表から数年経てもまだまだ認知のないコト・モノであれば受賞可能と判断する予定です。

選考フロー : 一次審査・二次審査・最終審査の三段階の審査を行います。

授賞内容 : 「ヒト」「モノ」「コト」の3つのカテゴリごとに地方創生大賞3点と地方創生賞6点を授賞

【ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 2018 政策奨励大賞(地方創生担当大臣賞)、政策奨励賞】

ヒト・モノ・コト、それぞれの見地からの審査では見落とされがちな、政策的見地から意義があると思われる候補を選出。その中から、地方創生を政策的に推進する上で、特に表彰に値すると考えられるものを政策奨励賞とし、その中でも最高位を政策奨励大賞とする。

【本件に関するお問い合わせ先】

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会事務局

EMAIL: [furusatomeihin@jtb.com](mailto:furusatomeihin@jtb.com)

(別添資料 1)

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー  
～『虎ノ門市場』にて販売中～

【虎ノ門市場について】

虎ノ門市場は、テレビ東京が運営する地域食材のお取り寄せサービスです。「後世に伝えたい味が、ここにある」というメッセージから始まる、地域食材のお取り寄せグルメ番組です。生産者が心を込めて作る「こだわりの逸品」を、その“想い”とともに、ドキュメンタリー取材を行い、食にかける情熱にフォーカスします。収益のみを追求する他の通販番組とは一線を画し、消費者の皆様に日本の食文化を伝えると同時に、それらを楽しむ機会を提供する番組となっています。

関連サイト

◆虎ノ門市場: <http://www.toranomon-ichiba.com/special/meihin.html>  
※過去受賞商品を販売中

<お問い合わせ>

株式会社テレビ東京コミュニケーションズ 担当者:秋吉  
電話:03-5473-6657 FAX:03-5473-6659  
e-mail アドレス: [akiyoshi@toranomon-ichiba.com](mailto:akiyoshi@toranomon-ichiba.com)

(別添資料 2)

地域商社協議会

次回は 5 月 28 日(火)開催予定

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会は、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部、農林水産省、及び経済産業省と共に地域商社を志す官民の関係者を全国から集め「地域商社協議会」として官民連携の定期セミナーを開催し、公式サポーターと自治体のマッチングの場として、これまで 10 回展開してきました。11 回目となる次回は、5 月 28 日(火)中央合同庁舎 8 号館講堂で開催予定です。